

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成23年1月6日 (2011.1.6)

【公表番号】特表2009-515897(P2009-515897A)
 【公表日】平成21年4月16日 (2009.4.16)
 【年通号数】公開・登録公報2009-015
 【出願番号】特願2008-540265(P2008-540265)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 51/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 K 39/395 Y
 A 6 1 K 43/00
 A 6 1 P 35/00
 C 1 2 N 15/00 Z N A A
 C 0 7 K 16/18

【手続補正書】
 【提出日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

卵巣癌を有効に処置するための組成物であって、
T 細胞の免疫グロブリンドメインまたはムチンドメイン 1 (T I M - 1) に特異的に結合する抗体またはその結合フラグメントを含む、組成物。

【請求項 2】
 前記抗体が配列番号 5 4 に示されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】
 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】
 前記抗体が 10^{-7} M と 10^{-14} M との間の K d で T I M - 1 に対して結合する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】
 前記抗体または結合フラグメントが治療剤に結合された、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】
 前記治療剤が毒素である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】
 前記治療剤が放射性同位元素である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記治療剤が化学療法因子である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

腎臓癌を有効に処置するための組成物であって、

T 細胞の免疫グロブリンドメインまたはムチンドメイン 1 (TIM - 1) に特異的に結合する抗体またはその結合フラグメント

を含む、組成物。

【請求項 10】

前記抗体が配列番号 54 に示されるアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記抗体が 10^{-7} M と 10^{-14} M との間の K_d で TIM - 1 に対して結合する、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記抗体または結合フラグメントが治療剤に結合された、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記治療剤が毒素である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記治療剤が放射性同位元素である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記治療剤が化学療法因子である、請求項 13 に記載の組成物。